

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回所沢市文化財保護委員会
開 催 日 時	令和 5年 11月30日(木) 午後1時30分 から 午後3時00分
開 催 場 所	所沢市役所 301会議室
出 席 者 の 氏 名	林 宏一 新井政明 金井秀人 金澤 光 新藤康夫 宮本八恵子 羽生修二 佐藤孝之 田中 信
欠 席 者 の 氏 名	なし
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	議事・報告 1 次年度事業計画について 2 事務局からの各種報告
会 議 資 料	報 告 資 料 : 1 「所沢滝の城跡整備検討委員会」委員名簿 報 告 資 料 : 2 文化財保護課事業報告
担 当 部 課 名	教育総務部 部 長 千葉裕之 次 長 池田 淳 文化財保護課 課 長 稲田里織 主 幹 川島一禎 副主幹 内野忠雄 主 査 鈴木 蘭 主 任 木村立彦 会計年度任用職員 矢田和美 教育総務部文化財保護課 電話04(2991)0308

様式第 発 号 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>議 長</p> <p>委 員</p>	<p>開会 部長あいさつ 文化財保護委員長あいさつ 林委員長が議長となり、議事を進める。 「所沢市情報公開条例」に基づき本会議、会議資料、会議録の公開について諮り、公開とすることを議長が宣言。次に、会議録については要約方式、発言者の委員名は出さず「委員」の表示とすること、会議録の確定は議長（委員長）の承認で行うことを確認した。</p> <p>議事 1、次年度事業計画について 「鈴木家資料保存事業」について、所蔵資料の審議状況に関する報告も踏まえて、事務局から説明。</p> <p>まずは民具について担当委員から補足説明を。</p> <p>鈴木源太郎家の民具は、コレクションとして充実しており、全ての作業工程を網羅するほどの緻密な資料が順序立てて集められているのは、養蚕・製糸・機織り用具なので、前回会議時に抽出して指定対象としたいとした。鈴木家では使っていない民具も、他から訪れた子供たちへの説明用に集めて展示していた可能性がある。生絹製作用具がかなり多いが、所沢では非常に珍しい道具なので、もしかしたら先代のコレクションなのではないかと疑いをかけたが、その後現在の養蚕報告書の刊行に向けて古文書等も含めて調査の結果、鈴木家は埼玉県北部の児玉郡から、群馬県の南部、茨城栃木の南部、三県が県境と接するあたりと関係が非常に深いということがわかってきた。農具の中にも栃木県の現在の佐野市で作られた墨書の入った万石通しがあったり、養蚕のまぶし、蚕箔（さんぱく）、栃木県南部や群馬県南部、埼玉県北部で分布しており近郊では見かけない地産飼育専用の小型蚕箔などがあった。県北とは養蚕を通じて非常に密な関係があり、ちょうど三県がまたがるエリアから色々なものを仕入れている。恐らく、生絹も生産地帯がルート上に位置するので、コレクションではなく、実際に生絹を織って、出荷していたと想像する。前回会議では少し疑いの目を向けたが、この生絹製作、製糸用具も全て鈴木家の民具として指定対象にすべきであると提案したい。「生産生業用具」の内、民具の状態を確認した結果、「農具・製茶用具」もコレクションとして充実している。そもそも鈴木家は農家であるので、畑作を中心とした農業を語る上で、農具・製茶用具も含めて良い。</p> <p>「交通交易用具」は計量用具が、繭や穀類や畑作物を量ったりとコレクションがあるので、指定対象に加えて良いと考える。</p> <p>「社会生活用具」として共有施設・用具、防災・警護用具、家印・印判類、その他所沢飛行場関係資料は、鈴木家が地域の名士としての役割を物語る資料として指定対象に値する。共有施設・用具として公民館が熊野神社に新築された落成式の札があるが、鈴木家が村の集会所としての役割を果たしていたからこそ所蔵している貴重な資料だ。家印・印判類の中には、数々の役職の記章がきちんと整理されて残っていた。</p>

	<p>その他所沢飛行場関係資料の一つは飛行場からの払い下げで手に入れたという樽が一点。もう一つは、ガリ版刷りの所沢飛行場の何か書いてある書類を周りに貼った箱だ。あまり状態は良くないが、飛行場関係の書類を貼った箱というのが出てくるので4つの種類を社会生活用具の中に入れてみた。</p> <p>「年中行事用具」も町場と農村部の繋がりを物語る所沢の農家の特徴であるので、指定対象としたいと考える。民具としては以上。</p>
議 長	追加説明されたものも含めて指定候補であるということか。
委 員	これから指定候補としたものを精査し、点数を把握したい。
議 長	<p>委員から、生絹製作用具の更に詳しい調査の結果、広範囲に、特に県北から上州、野州の方まで流通があったと判明し、指定対象に加えるべきとの意見をいただいた。非常に民俗資料の中身が精査され、充実した内容になると感じる。次に古文書担当委員から補足等をお願いする。</p>
委 員	<p>古文書については以前から申し上げているように、一括指定するのが望ましい。鈴木家が多面的な活動をしていたことを示すには一括指定にした方が良く、資料の保存管理の上でもその方が良い。前回会議では民具や絵画関係資料も一括指定としたが、先日、担当委員三人の小会議で検討した結果、各分野の特徴や方向性に違いがあるということも感じた。民具担当委員からの話にもあったように、ある程度限定して特徴を出して選定する。絵画もこのあと報告があるが、指定対象を選定する事が良いと感じた。全部一括指定という部分は修正させていただきたい。古文書については一括が望ましいと考える。</p>
議 長	各担当委員による小会議で、分野ごとの方向性が出て、古文書については全てを一括指定するという事。次に書画・絵画関係について担当委員から補足等をお願いする。
委 員	<p>書画に関しては、沢山あるが作品のクオリティというかレベルがものすごく弱いと見ている。特に狩野派の作品で文晁だとか常信だとか、江戸期の狩野派の作品は、偽物の可能性があると感じた。そういう点を考慮すると指定する範囲はもっと絞った方が良いと考える。飛行場関係や所沢の文化人との交流による収集作品が区別する範囲と考える。見た範囲で大丈夫なものを中心に考えたらどうかというのが作品を見た私の感想だ。</p>
議 長	<p>これまでの調査、精査の中で明らかに偽物もあるという事で、その取り扱いをきちんと判断すべきというのが担当委員の考えか。民具、それから古文書については、ほぼ全て指定対象として良く、書画については、更にもう少し精査が必要という方向性が見えている。その他の委員からご意見等あるか。</p>

委 員	古文書等資料的なものは大丈夫だが、書や絵画や骨董品に関しては、趣味や嗜好の世界に入る。これは個人の収集という事も考えられ、指定対象とするかは、調査が必要と考える。
議 長	慎重に判断し、安易に指定しない方が良いという事か。
委 員	議長ご発言の通り。中には価値を有するものもあると考える。明らかにこれは偽物という物以外は対象にしても良いだろう。古文書調査の中で鈴木源太郎家の交友関係、人脈により収集された物もかなりあり、それはそれなりの意味がある。
委 員	書画については素人だが、何でも指定すれば良いという訳ではない。一点一点の価値を見極めてそれぞれ指定していくのか、あるいは飛行場関係に絞るか。工夫が必要と考えるが、基本的に指定することには問題ない。
議 長	確かにそれぞれの作品が飛びぬけて素晴らしいというわけではないから、鈴木源太郎家の人的交流の中で集まった、収集された物がだいぶあるだろう。そこをどうとらえていくかという事が大事だ。
委 員	所沢ゆかりの作家として所沢で活躍した方もいるし、隣の入間の人も狭山の人もある。色々な方がいるからどこまで「ゆかり」とするかも検討が必要だ。所沢には直接関係はないが鈴木家を通して関係があり、入間では代表になるような作家もいる。所沢の文化人かということそうではない人もいるので、その取捨選択は考えた方が良い。
委 員	もしこれだけの膨大な量を指定した場合、どこで保管するのか。鈴木家コレクションを展示する資料館を造り、展示してもらうのが良いが、その先の保管場所を考えているか。
事務局	寄贈資料については、生涯学習推進センター内の収蔵スペースを整備し、鈴木家の資料を入れる場所をまず作り、資料は収蔵展示をしていきたいと考えている。
委 員	各分野の研究成果を含めて展示して説明もしないと、ただ倉庫に保管するだけではなく、しっかりとプレゼンテーションできるような形で残して欲しい。
議 長	それが一番ポイントになる。事務局にしっかりと収蔵展示を実施して欲しい。

委員	何を軸にして今回の指定対象を括るかという事になると、鈴木源太郎家ブランドを示す資料と考える。線引きは所沢ゆかりの、鈴木家と交友関係のあった文人たちになる。民具の場合は、地域の名士として飛行場に貢献し、養蚕を率先して近代化を進めたなど、何か鈴木源太郎家ストーリーが語れる線引きをしたい。そうすると民具そのものの価値、書画そのものの価値というよりも、その資料が鈴木家を語る資料であるかどうかというところで線引きをして一括で指定をできたら良いと考えた。
議長	ある意味では示唆的なご提案をいただいた。各担当委員による小会議にて再度検討し、特に書画関係については指定範囲を絞るなど更に精査を進めて最終的な指定対象と中身を決めていくという事で、この件に関してはよろしいか。鈴木家資料保存事業についてはこれで終わらせていただく。次に「郷土資料等収蔵施設整備事業」について。これも懸案の課題だ。事務局の説明をお願いします。
事務局	～「郷土資料等収蔵施設整備事業」について事務局から説明～
議長	郷土資料等収蔵施設の庁内検討がまだ続いているという事だが、デジタルシステム化の実現可能性は高いか。
事務局	予算は新規事業として要求している。組織が別だったこともあり、所蔵資料管理は、文化財保護が Excel、ふるさと研究が Access と別データで管理しており、統合するだけでもかなりの労力が必要である。データ入力も含めて博物館施設で使われているようなシステムを導入し管理していこうと考えている。事務局としては、これを第1歩として収蔵施設整備を動かしていきたい。事業化については、庁内検討調整会議で合意形成を進めており、その中で出てきた課題を少しずつ解決しながら収蔵施設整備へつなげていきたいと考えている。
議長	検討、検討で全く輪郭が見えてこない。デジタルシステム化も大変な労力と予算も要する。物が先に建つべきと私は考える。委員の方々ご意見あるか。
委員	郷土資料の対象となるのはどういう物か。例えば建造物を調査した報告書、図面、写真なども対象となるのか。
事務局	「ふるさと所沢」に関わる資料としている。
委員	管理してもらえるととても助かる。
議長	これも重要な市民サービスではあるが、まずは博物館整備を極力努力いただきたいと考える。

部 長	<p>博物館整備に関しては、我々がいかにこれは良いものだと言っても相手に伝わらないと始まらない。今まで事務局も色々努力はしてきたが、なかなか実現に至っていない現状だ。博物館が必要だと、市民を巻き込んで気運を高めていかないと、なかなか動きにはならない。事務局としてはまず、情報サービスという部分を整えて、十分な情報提供をして気運を高めていきたい。かなり遠回りにはなってしまうかもしれないが、しっかりと根を張って進めていかないといけない。興味が無い方にもいかに興味を持ってもらうかが、やはり必要と考える。今までは好意的な方、理解いただける方だけを対象としていた部分もあるが、それでは全体を巻き込んで大きなものを造っていくということは非常に難しい。庁内検討していてもなかなか壁は高い。今は、新しい物を作るというよりも、既存施設の老朽化が進んでいくので、そこをどうしていくかという事がどうしても先行してしまう。教育委員会の中でも特に学校は老朽化している。そこに先ずは光を当てざるを得ない。その中でもやはり博物館も大切という事を一方で訴えていき、もう一方では大きなものとして秋田家住宅の整備と復元をどうするか、そこもある。これもやはり安い金額で済む話ではない。そういったバランスを考えながら進めていくしかない。なかなかジレンマがあったり、皆様方にとってはすごくじれったい部分もあるだろう。こういう席で色々ご意見を頂けるとまたそれを上司にも伝えていきたい。</p>
議 長	<p>何れにしろ文化財保護課が抱えている課題はたくさん多岐に渡っているので、事務局は大変だが、大きな目標は大きな目標として、一方でステップを上げられるような努力を是非お願いしたい。この件に関しては各委員から他に意見はあるか。なければこの郷土資料等収蔵施設整備事業についてはご了解いただいたという事で。次に「滝の城跡整備事業」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～「滝の城跡整備事業」について事務局から説明～</p>
議 長	<p>この件に関して担当委員から何か意見はあるか。</p>
委 員	<p>滝の城は現存期間が長い。歴史的な史実と、実際に出土した遺物がどう重なったりするか、しっかり調査することが大事と感じた。</p>
委 員	<p>私も滝の城跡の調査に途中から入っている。都心に近くあれだけ良好な状態で戦国時代の城が残っているのは、八王子城（滝山城）もかなり都心に近いが、都心に近いという点では滝の城が勝っている。貴重な城なので保存はもちろんだが、市民の方々に城の本質的・歴史的な背景まで理解していただくために、事務局でそれを丹念に分析してどういう遺跡があったか、しっかり調べてそれを整備の中で市民の皆さんに説明できるような形にしていきたい。</p>

議 長	<p>都心に近い戦国期の城としては重要な存在であるということなので、もっと市民にアピールするような形で広報してもらっても良い。あと、我々も一度は滝の城の現地見学をするような機会を考えていただきたい。</p> <p>滝の城跡整備事業については了解いただいたという事で。次に「国登録有形文化財『旭橋』電灯復元事業」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～「国登録有形文化財『旭橋』電灯復元事業」について事務局から説明～</p>
議 長	<p>設計図がよく見つかった。発見された図面の形の電灯を復元するという事か。</p>
事務局	<p>文化財建造物等の電灯を復元する専門業者に委託し、当時の設計図面を元に電灯4基を製作して橋に設置する計画である。</p>
議 長	<p>あの景観が戻れば、所沢の歴史的な空間が再現される訳だから、市民にとっても喜ばれるだろう。</p> <p>是非これは期待したい。この件についてはよろしいか。次に「所沢市文化財保存活用地域計画作成事業」について。事務局説明を。</p>
事務局	<p>～「所沢市文化財保存活用地域計画作成事業」について事務局から説明～</p>
議 長	<p>この件に関して各委員から何か確認事項等あるか。これは近隣市町村でも計画を作成中、あるいは完成させているものだが、これまで積み重ねてきた所沢の文化遺産をいかに活用して市民に理解してもらいながら楽しんでもらうかという様々な方策を考えるものだ。わかりやすく親しみやすい方向で、また漏れのない形でまとめるようお願いする。各委員からはよろしいか。それでは所沢市文化財保存活用地域計画作成事業については了解したという事で。</p> <p>最後になるが、「歴史的建造物整備活用事業」について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～「歴史的建造物整備活用事業」について事務局から説明～</p>
議 長	<p>この件に関して担当委員から意見や補足等あるか。</p>
委 員	<p>策定委員として関わったので、経過報告をお願いしたい。</p>
議 長	<p>所沢のかつてのまち場の景観をきちんと伝えている住宅なので、活用されることによって、新住民も所沢のまち場の景観が浮かんでくるだろう。色々大変だが、しっかりと事業を進めて欲しい。</p>

議 長	次に報告事項について。各種報告に関して事務局から説明をお願いします。まず文化財保護グループから説明をお願いします。
事務局	～文化財保護グループ事業報告～
議 長	続いてふるさと研究グループの説明をお願いします。
事務局	～ふるさと研究グループ事業報告～
議 長	続けて埋蔵文化財調査センターの説明をお願いします。
事務局	～埋蔵文化財調査センター事業報告～
議 長	文化財保護グループ、ふるさと研究グループ、埋蔵文化財調査センターの事業報告について説明を聞いた。それぞれの説明で何か確認事項、質問事項はあるか。ふるさと研究グループの関連事業のさいたま市の栄東中学・高等学校の理科研究部との共催は、非常に珍しいケースだが、こういった事は初めてか。
事務局	市内の学校ではないが、関東大震災に関する調査でやり取りがあり、栄東中学・高等学校にもそこまで積み上げてきた調査結果もあったので、今回共催での開催となった。
議 長	なかなか良い試みだ。参加者 35 人はちょっと寂しい。あとは、講座体験の星空フェスティバル、これは実際空を観察するのか。星座等は見えるのか。
事務局	市内に本社のある光学機器メーカーのビクセンに協力をいただき望遠鏡や双眼鏡を借用して、星空の説明をしていただいた。日没前は生涯学習推進センター内で、所沢高校化学部が化学にも親しめるようなイベントを実施したり、所沢図書館も協力し、本館職員が星にまつわる本を読んだりするイベントを実施したりと、星にまつわる各種イベントを開催した。
議 長	800 人というのは盛況だ。是非続けて欲しい。宮本先生にご尽力いただいた「ふるさと所沢の味」とは何か。
委 員	これは 11 月 1 日が狭山茶、8 日がさつまいも、18 日が地元の深井醤油、25 日は私が講師でうどんの 4 回シリーズだった。
議 長	中身の濃い講座だ。うどんは打ったのか。
委 員	うどんは、皆さんにレシピを配って地元のご婦人たちが昔や今も、こうしてうどんを打つというレシピをみんなに配った。あとは、うどん作りの資料館に展示されている道具を麺棒・麺板・うで策・スノウを並べて展示しながら話をした。

議 長	<p>楽しく味について学ぶことは、市民にとって良い。是非、大変だが継続して欲しい。次のページの「狭山丘陵・ちょっと地層を見て歩き～再び～」、これは地層がわかるところがあるのか。</p>
事務局	<p>西武球場前駅を出発し、下山口駅まで歩く途中で地層を、観察できる場所がある。そこを講師に招いた大学の先生に説明をしてもらう。</p>
議 長	<p>地層の先生が同行するのか。あとは、冬の企画展でお蚕さまの今昔物語、これは報告書が併せて出るということか。</p>
事務局	<p>宮本先生に調査執筆を依頼している報告書の内容を踏まえた形での展示になる。</p>
議 長	<p>ミヤコタナゴについてはまずまずの状況ということか。</p>
委 員	<p>人工授精に関しては特に問題ない。小学校で飼育しているが、ただ単に飼育するのではなく、例えば一定期間飼育したらその成果を示した方が良い。一番目安になるのは産卵数。どの学校で飼育されたタナゴから何千粒卵が採取できたか、孵化率がどれくらいになったか、何かデータを用意して示すと、尚更、子供たちのやる気が増えると考え。一工夫必要と考えた。</p>
議 長	<p>それは是非、埋蔵文化財調査センターで今の提案を検討し、飼育が楽しくできる方策を考えて欲しい。</p>
事務局	<p>今年度から「2年前に配り皆さんが育てたミヤコタナゴから今回の赤ちゃんが産まれたよ」と、児童の飼育意欲を掻き立てるようなポップをつけて、配布している。</p>
議 長	<p>委員からのご提案を活かしながら来年も続けて欲しい。その他、委員から何かこれまでの報告に関してご質問等あるか。それでは報告事項は承認された。</p> <p>以上で次第の議事報告は全て終了した。その他何かあるか。無ければこれで今回の議事は全て終了したので、進行を事務局に戻したい。</p>
事務局	<p>次回、第3回文化財保護委員会は、鈴木家の実査も含め令和6年の2月もしくは3月を予定している。</p>
副議長	<p>閉会の挨拶。</p>